

# こども



## 放課後児童クラブ

### 長期休み中の開所時間繰り上げと土曜開所を！

## 定例会報告

**名取泰議員は、長期休み中の開所時間の繰り上げと長期休業期間以外での土曜保育の実施を求めました。**

#### 長期休み中の早朝開所は難しい

金丸一元市長は、「現状の人員配置での対応は困難で、開所時間の繰り上げは難しい」と答弁しました。

#### ファミリーサポート利用料の補助を検討する

名取議員は「根本的解決策は職員を増やすことだ」としつつ「応急対策を提案したい」としてファミリーサポートへの補助を提案しました。

ファミリーサポートは、市に登録したサポート員が自宅などで子どもをみてる制度。利用には1時間600円（所得非課税のひとり親家庭は1時間400円）かかります。夏休み中に仮に20日間、朝の送りの際に1時間利用すれば月12,000円（同8,000円）となり、夏休み中の放課後児童クラブ利用料の5,000円に加えて大きな負担となります。

名取議員は「開所時間の繰り上げが解決するまでの間、ファミリーサポートの利用料を補助したらどうか」と求めました。これに対して金丸

市長は「検討していきたい」と応じました。

#### 土曜日利用の選択肢を！

名取議員は「（答弁にあったように）土曜日の利用者が少ないというのであれば、北部、南部の1カ所ずつで、まずは実施してみてもどうか」「土日勤務の方にも、預かってもらえる場所があるという選択肢をまずはつくるべきだ」と求めました。

土曜勤務になった。  
仕事をやめるしかないよ…



## 市内保育所の待機児童は80人前後の見込み 保育士増員など、前向きに解決を

## 定例会報告

**松野昇平議員は「第3希望まで入れない」「途中入所できない」という声について、入所環境と待機児童の実態を質問しました。**

金丸一元市長は、保護者の希望が重なり「第3希望までの保育所に入所することが難しい」とこと、「3歳未満児は年度当初で定員になり、年度途中での入所は極めて困難な状況」であり、「希望する保育所へ全員を受け入れることは難しい状況である」と答弁しました。

#### 延長申請などが対象になり80人前後

また、待機児童については「本市では国の定義に基づく待機児童はゼロ」としながら、「育休を延長したり、離職している保護者がいることは承知している」とし、長澤保健福祉部長は、市の待機児童数は、「新基準では育休延長を申請した場合も対象になるので、年間80人前後になると思われる」と答弁しました。

#### 「プラス」の問題としてとらえて

松野議員は「子育て支援や移住政策に熱心なほど、子育て環境や働き方が改善していき、潜在需要を刺激し、待機児童は逆に増えていく。

最終的には待機児童ゼロを目指すべきだが、単にマイナスの問題としてではなく、子どもを増やしていくプラスの問題として、前向きに解決していくことが大事だ」として、第3希望まで入れない現状の解決と合わせて、施設整備と保育士の増員を求めました。

金丸市長も「待機児童が無いように、正職員、臨時職員を合わせて確保していきたい」と応じました。

職場復帰しないといけないのに、入所先が見つからない。



学童保育で配膳の方法などを聞く、左から松野昇平議員と名取泰議員（8月1日越谷市）

市内の通常時の学校給食提供数1日約2万8千食に対して、夏期学童給食の提供数は1日約2千食。夏期学童に登録している児童の約7割強が利用しています。利用者（保護者）は事前に、市のホームページからパソコンやスマートフォンを使い、給食注文の有無を1日単位で申し込みます。1食270円で、アレルギー食は材料から判断し、注文しない場合は各自で弁当を持参します。市の担当者によると、「子どもや保護者から大変好評をいただいている」「お弁当忘れの心配がなくなつた」と喜ばれているそうです。

**夏休み中の学童給食を提供**  
埼玉県 越谷市  
埼玉県越谷市は「夏期学童給食」をH18年度から全ての学童保育室（放課後児童クラブ）で提供しています。「夏期の高温下で弁当を持参することによる衛生面での不安をなくす」「保護者の負担軽減を図る」ことを目的としています。  
**1食270円、申し込みは市HPで**

視察  
報告

#### 多子世帯ほど影響が大きい均等割

名取泰議員は、市の職員などが加入する共済組合の掛け金と国民健康保険税を比較した図を示しました（右図参照）。これを見ると、単身でも1.6倍だったものが、妻と子ども3人の場合、均等割が人数分加算され、国保税の方が1.9倍高くなります。名取議員は、第3子以降の均等割を免除するように求めました。

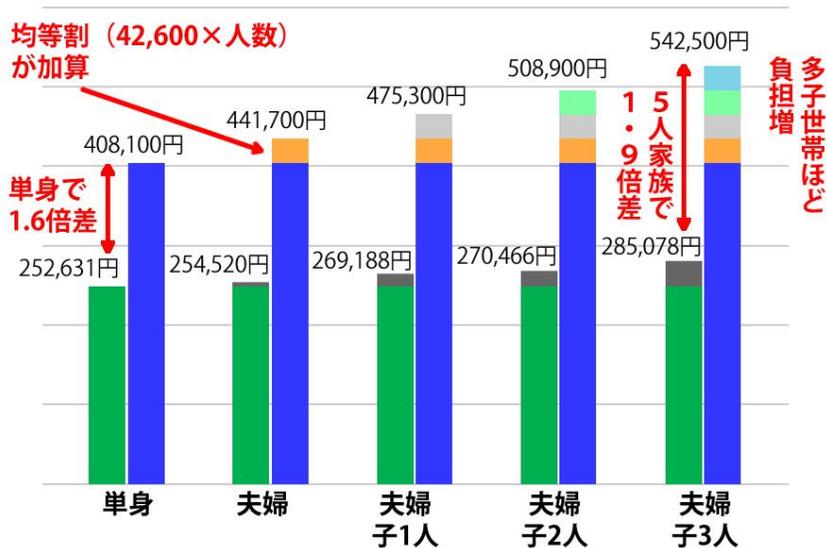
金丸市長は国保以外の保護者との公平性を考えると免除は難しいと答弁しました。

#### 国保税率は据え置き

また30年度から国民健康保険財政の都道府県化に伴い、「本市の国保税額はどうなる見込みか」を確認したのに対して、金丸市長は「被保険者の負担を考慮し、税率を据え置きさせて頂きたいと考えている」と答弁しました。

#### 共済組合掛金と国保税の比較

夫の課税所得300万円、妻は専業主婦で比較（年額）



#### 市内救急医療の充実を！ 2病院を拠点に推進

#### 定例会報告

**医師確保にむけ努力していく**  
松野議員は課題となる医師確保に行政が一体となって取り組むよう求めました。金丸市長は、医師の確保は1つの自治体だけでは対応できず、県や近隣自治体と協力して取り組んでいくと答弁しました。

**初期患者は今後も市内で受け入れる**  
松野昇平議員は市の救急医療の現状と今後の見通しを質問しました。金丸市長は来年度に向けて、準夜帯から白根徳洲会病院と巨摩共立病院を拠点病院とし、中巨摩医師会の協力を受けて、開業医も2病院に集中して初期救急医療体制を整える方向で協議を進めると答弁しました。これにより当番制の課題であった専門外の先生が当番となった場合の総合病院へ振り分けの抑制にもつながり、市民にとっては利便性が向上するとしています。

#### 豪雨災害の教訓から 河床林の伐採を

#### 活動報告

市民から坪川・川上橋下流の河床に林のように木が大きく成長しているという連絡を受け、現況を確認しました。西日本豪雨災害では河川の氾濫や土砂流出により大きな被害となった教訓から、県議会議員を通じて中北建設事務所河川砂防管理課に連絡し、伐採が完了しました。

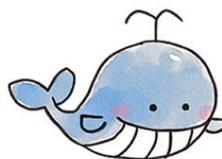


**学校施設のブロック塀撤去へ**  
大阪を中心とする震度6弱の地震で登校途中だった小学4年生の児童が倒壊したブロック塀の下敷きとなり死亡した事態を受けて、市教育委員会では市内の小中学校を調査。対象となったのは豊小学校の元の給食室北のブロック塀。このたび、撤去を行ない、フェンスに付け替える工事が完了しました。教育委員会は今年度予算の修繕費の中でいち早く工事を進めたとしています。

※逆方向から撮影しています

#### ご意見をお寄せください

名取 泰 090-3435-4838 natori-yasushi@mbr.nifty.com  
松野昇平 090-5515-1115 kikuoka\_shamisen@yahoo.co.jp



ホームページの「南アルプス市議会」から過去の質問をご覧になれます